

Microsoft 365 Copilot「Researcher Agent」詳細分析レポート

I. はじめに

エンタープライズAIの進化は、単なるタスク処理の自動化から、より複雑なワークフロー全体を自律的に管理する新たな段階へと移行しています。この文脈において、Microsoft 365 Copilotに搭載された「Researcher Agent」の登場は、単なる機能アップデートではなく、AIが企業の知的生産活動にどう関わるかというパラダイムシフトを象徴する重要な出来事です。これまでAIは、文書の要約やメールの下書きといった個別のタスクを支援する「アシスタント」としての役割が主でした¹。しかし、Researcher Agentは、複数の情報源からデータを収集・分析し、一貫したレポートを生成するという、多段階にわたる複雑なプロセスを担う「推論エージェント」として設計されています⁴。

本レポートで詳述するResearcher Agentは、Microsoft 365 Copilotエコシステム内で、特に高度な専門性を持つツールとして位置づけられています。その主たる対象は、社内外に散在する膨大な情報を統合し、戦略的な洞察を導き出す必要のあるナレッジワーカーです⁴。これは単なる生産性向上ツールではなく、戦略策定や市場分析といった業務の質そのものを深化させることを目的としています。

このレポートでは、まずResearcher Agentの概要とそれを支える技術的基盤を解き明かし、次に具体的な活用シナリオ、導入に伴うメリットとデメリットを客観的に評価します。さらに、実践的な利用例、ライセンス要件、競合ツールとの比較分析を通じて、その全体像を多角的に明らかにします。最後に、これらの分析に基づき、導入を検討する企業への提言をもって締めくくります。

このエージェントの登場が示すのは、AIが単一の命令に応答する受動的な「ツール」から、計画、実行、統合という一連の思考プロセスを模倣し、ワークフロー全体を管理する能動的な「エージェント」へと戦略的に転換している点です⁷。従来のCopilot機能が個別のタスクに焦点を当てていたのに対し¹、Researcher Agentを説明する言葉は「推論エージェント」「複雑な多段階リサーチ」「思考の連鎖(chain-of-thought)」といった、人間が行う問題解決プロセスに近いものです⁴。これは、単一タスクの高速化ではなく、市場調査や戦略計画といった中核的なビジネス機能そのものを自動化し、高度化するというMicrosoftの明確なビジョンを反映しています⁴。したがって、Researcher Agentは単なる高性能な検索エンジンとしてではなく、戦略

分析を担う次世代のデジタルな同僚として評価されるべきです。

II. 概要: Researcher Agentとは何か

A. 定義とエコシステム内での位置づけ

Researcher Agentは、Microsoft 365 Copilotに組み込まれた、事前構築済みの特化型AIエージェントであり、主にCopilot Chatインターフェースを通じて利用されます⁴。その核心的な機能は、企業の内部データと外部の公開情報を横断的に統合・分析し、構造化された包括的なレポートを生成することにあります⁶。

このエージェントを正しく理解するためには、エコシステム内の他のコンポーネントとの違いを明確にすることが不可欠です。

- **Microsoft 365 Copilot Chat:** これは汎用的な対話インターフェースであり、ユーザーが自然言語で様々な指示を出すための基盤です¹。Researcher Agentは、このChat内で呼び出される専門機能の一つです。
- **Analyst Agent:** Researcherの兄弟分とも言えるエージェントですが、その専門領域は異なります。Analystはデータサイエンスに特化しており、Excelスプレッドシートなどの定量的データを対象とした高度な分析、データ可視化、Pythonコードの実行などを担います⁴。Researcherが定性的・定量的情報から物語性のあるレポートを作成するのに対し、Analystは数値データを解析することに主眼を置いています。
- **Copilot Studio:** これは、企業が独自のカスタムAIエージェントを構築するための開発プラットフォームです⁵。対照的に、ResearcherはMicrosoftが提供する、すぐに利用可能な強力な既製エージェントです。

B. 技術的基盤と動作原理

Researcher Agentの高度な能力は、その技術的基盤と、人間の研究者の思考プロセスを模倣した独自の動作原理によって支えられています。

- **コアエンジン:** エージェントは、OpenAIの先進的な推論モデルによって駆動されていま

す。具体的には、複雑な調査タスクに特化してトレーニングされた「deep research model」や「o1」、「o3」シリーズのバージョンが採用されています⁴。これらのモデルは、GAIAやHLExといった推論能力を測るベンチマークで高い性能を実証しています¹⁷。

- 反復的な調査プロセス: このエージェントの最大の特徴は、勤勉な人間が行う調査手法を模倣した、体系的なプロセスにあります。このプロセスは、以下の明確なフェーズで進行します⁹。
 1. 初期計画 (**P0**): ユーザーのプロンプトと背景情報を分析し、大まかな調査計画を立案します。必要であれば、タスクを明確化するための質問をユーザーに投げかけます。
 2. 反復ループ (推論 → 取得 → レビュー): 各サブタスクに対して、以下のサイクルを繰り返します。
 - 推論 (**Reason**): 次に取り組むべきサブタスクと、不足している情報を特定するための分析を行います。
 - 取得 (**Retrieve**): 社内文書、メール、ウェブなど、アクセス可能な全データソースを検索し、不足している情報を取得します。
 - レビュー (**Review**): 収集した情報の関連性と品質を評価し、重要な発見を「スクラッチパッド(メモ帳)」に記録します。
 3. 統合と生成: 反復サイクルから得られる新たな知見が減少した時点で、エージェントは調査を終了します。その後、収集したすべての知見を集約し、パターンを分析、結論を導き出し、出典を完全に明記した一貫性のあるレポートの下書きを作成します。

この構造化された反復プロセスと、徹底した引用の重視は、多くの生成AIが抱える「ブラックボックス問題」を克服し、ユーザーの信頼を醸成するための意図的な設計です。AIの出力がどのように導き出されたのかが不透明であることは、企業導入の大きな障壁となります。

Microsoftは、この「推論→取得→レビュー」というプロセスを技術ブログで詳細に公開することで、その動作原理の透明性を確保しています⁹。最終的なアウトプットは単なる「答え」ではなく、「証拠に基づいた答え」です。内部評価では、1回の応答あたり平均約10.1件のソースを引用し、その内訳は社内文書 (61.5%)、ウェブページ (58.5%)、メール (55.4%)、会議の議事録 (33.8%) と多岐にわたります¹⁷。この検証可能性へのこだわりは、ACRU (Accuracy: 正確性、Completeness: 完全性、Relevance: 関連性、Usefulness: 有用性) と呼ばれる評価フレームワークと相まって⁹、Researcher Agentを謎めいた神託から、その作業内容を監査できる透明なリサーチアシスタントへと変貌させています。この「ガラスボックス」的アプローチは、ビジネスという高い信頼性が求められる文脈でのAI活用において極めて重要です。

C. 情報アクセス範囲: 社内・社外データの融合

Researcher Agentが提供する独自の価値は、セキュリティを確保しつつ、3つの異なる領域

の情報をシームレスに統合・分析できる能力にあります。

- 1. 社内エンタープライズデータ (**Microsoft Graph**): ユーザーの組織データに安全にアクセスします。これには、メール、チャット、会議の議事録、SharePointやOneDrive上のファイルが含まれます。最も重要な点は、既存のユーザーアクセス許可が厳格に遵守されることです⁴。
- 2. 社外公開データ (**Web検索**): ライブWebにアクセスし、広範な市場データ、競合他社の動向、最新のトレンドといった外部情報を収集します⁴。
- 3. サードパーティプラットフォームのデータ: Microsoft Graphコネクタを介して、Salesforce、ServiceNow、Confluence、Jiraといった外部のビジネスシステムから直接データを取得し、分析範囲を拡張できます⁴。

III. 主な用途と部門別活用シナリオ

Researcher Agentは、単一の事実を見つけるのではなく、複数のデータポイントから統合された物語を構築する必要がある、複雑で知識集約的なタスクのために設計されています。これは、企業の戦略的な機能の基盤となる業務で特にその価値を発揮します。

主な活用領域:

- 戦略計画: 社内の業績指標と社外の市場分析を統合し、データに基づいた事業戦略を策定します⁴。
- 市場・競合情報分析: 市場トレンドや競合の動向に関する詳細な調査を実施し、未開拓の事業機会(ホワイトスペース)を特定します⁴。
- 顧客・ベンダー管理: 過去のやり取り、業績、関連する市場状況に関する包括的なレポートを作成し、重要な交渉やレビューに備えます⁴。
- プロジェクト・製品管理: 詳細な進捗レポートの生成、目標に対する進捗の分析、様々なチャネルからのフィードバックの統合などを行います²¹。

以下の表は、各ビジネス部門における具体的な活用シナリオをまとめたものです。これにより、各部門のリーダーは自部門に関連する高価値な応用例を迅速に把握できます。

表1: 部門別Researcher Agent活用シナリオ

部門	活用シナリオ	説明	関連資料
マーケティング・営業	市場投入戦略(Go-to-Market)の策定	新製品のGTM戦略を詳細に策定。社内の強	4

		み、ターゲット層、競合状況を分析し、デジタルチャネルやコンテンツ戦略を提案する。	
営業・アカウント管理	重要顧客との交渉準備	今後の重要顧客との会議に向けた包括的なブリーフィング資料を作成。最近の全コミュニケーション、サポートチケット、プロジェクト進捗を要約し、業界トレンドに基づいたアップセルの機会を特定する。	4
経営企画・研究開発	ホワイトスペース(未開拓市場)の分析	社内の販売データ、Teamsチャットでの顧客フィードバック、Web上の業界レポートから新たなトレンドを統合し、新製品や新規市場の機会を特定する。	4
財務・オペレーション	事業影響評価	新たな関税やサプライチェーンの混乱といった外部要因が特定の事業ラインに与える影響を分析・報告。社内の財務データと外部のニュースソースから情報を引き出す。	10
プロジェクト管理	四半期ごとの包括的なレビュー	ステークホルダー向けの包括的な四半期プロジェクトレポートを生成。進捗、会議議事録からの主要な決定事項、スプレッドシートからの予算遵守状況、メールでの課題などを要約する。	4

IV. メリットとデメリット: 導入価値の客観的評価

A. メリット

- 劇的な生産性向上: これまで数日を要していた時間のかかる手作業のリサーチを、数分に短縮します。パイロットユーザーからは、週に平均6〜8時間の時間が節約され、実質的に丸1日分の「退屈な作業」がなくなったとの報告があります⁷。
- 優れた洞察の質と正確性: 単純な情報検索を超え、真の統合分析を実現します。企業内とウェブ上の散在するデータポイントを結びつけることで、人間が手作業で見つけ出すことが困難または不可能な洞察を明らかにします。Microsoftの内部テストでは、複雑なクエリに対してベースラインのCopilot Chatと比較して、正確性が88.5%、完全性が70.4%向上したことが示されています⁷。
- エンタープライズレベルのセキュリティとコンプライアンス: これは決定的な利点です。エージェントは安全なMicrosoft 365の境界内で動作し、既存のデータ保護、プライバシー、コンプライアンスポリシー（GDPRなど）をすべて継承します。データが基盤となるLLMのトレーニングに使用されないことは、企業顧客にとって極めて重要なコミットメントです⁴。
- 意思決定の迅速化と競争優位性: より高品質で包括的な情報に迅速にアクセスできることで、組織はより情報に基づいた戦略的意思決定を迅速に行うことが可能になり、競争上の優位性を生み出す可能性があります⁷。

B. デメリットと潜在的リスク

- 厳格な利用制限: ResearcherとAnalystを合わせて月間25クエリという上限は、リサーチを多用するパワーユーザーやチームにとって大きな制約となります。これは、日常的で集中的な調査タスクにおける有用性を著しく制限する可能性があり、高額な価格設定を考えると不十分に感じられるかもしれません¹⁰。
- 高い総所有コスト (TCO): このエージェントは単体製品ではありません。利用には、高価なMicrosoft 365のベースライセンス（例: E3, E5, Business Premium）に加えて、ユーザーあたり月額\$30のアドオンライセンスが必要です¹⁹。これによりTCOは相当な額になり、明確なROIの正当化が求められます。
- 「Garbage In, Garbage Out」の原則: エージェントの有効性は、組織の内部データの品質、整理状況、アクセシビリティに根本的に依存します。データ管理が不十分であったり、アクセス不能なシステムにサイロ化されていたり、過剰な共有や緩い権限設定が蔓延していたりする場合、エージェントの出力は最適とは言えず、最悪の場合、セキュリティリ

スクとなります²⁴。

- 不可欠な人間による監督: その高度な能力にもかかわらず、エージェントは人間の専門知識を代替するのではなく、補強するためのツールです。出力内容は、正確性、ニュアンス、戦略的整合性について批判的にレビューされる必要があります。検証なき過信は重大なリスクです²³。
- 意図しない知的財産権侵害の可能性: MicrosoftはIP補償のコミットメントを提供していますが、AIが生成したコンテンツが意図せず第三者の知的財産権を侵害するリスクは依然として存在し、法務およびコンプライアンス部門による監督が必要です²³。

Researcherの導入における最大の障壁は、ライセンス料そのものではなく、導入前に求められる組織的な「データ準備」という、しばしば過小評価される膨大な労力です。このツールは事実上、企業に「準備税」を課し、既存の情報ガバナンスの成熟度と向き合うことを強めます。このツールの価値は、ユーザーのデジタルワークスペース全体を検索・統合する能力にあります⁴。しかし、その中核的なセキュリティ原則は、ユーザーが既にアクセス許可を持つデータのみを対象とすることです¹⁸。専門家が指摘する主要なセキュリティリスクは、ユーザーが必要以上に広範なデータにアクセスできる「過剰な権限付与」や「過剰共有」です²⁴。ユーザーが見ることができるデータは、Researcherも見ることができ、レポートに含める可能性があります。したがって、Researcherを安全に展開するためには、組織はまず包括的なデータガバナンスの見直し、すなわち権限の監査、古いコンテンツの整理、最小権限の原則の導入、データ分類などを実施しなければなりません。Microsoft自身も、SharePoint Advanced Management (SAM) のようなツールを「Microsoft 365 Copilotの準備」に役立つものとして販売することで、この点を暗に認めています¹⁴。結論として、Researcherの真のコストは月額\$30のライセンス料だけではありません。それは、前提条件となるデータクリーンアップとガバナンスプロジェクトのコストであり、これは膨大でリソースを大量に消費する可能性があります。この「準備税」を無視する組織は、効果のない結果か、深刻なデータ漏洩のリスクを冒すこととなります。

V. 具体的な使い方: 実践例3選

このセクションでは、エージェントの実用的な応用方法を具体的に示すため、影響力の大きい3つのユースケースを物語形式で解説します。

1. 新規市場参入戦略の策定

- 背景: スマートフットウェアを製造する企業のプロダクトマネージャーが、「アウトドアアドベンチャー」市場への進出を検討しています⁸。
- プロンプト例: 「あなたは戦略アナリストです。当社のスマートシューズ技術をアウトドアアドベンチャー市場に拡大するための包括的な市場投入戦略を作成してください。社内の設計文書と第4四半期の販売レポートに基づき、既存製品ラインの強みと弱みを分析してください。Webデータを用いて、ターゲット層、主要競合他社（GarminやSuuntoなど）、アウトドアテック分野の新興トレンドを調査してください。Teamsでのマーケティングチームの最近のキャンペーン実績やメールでの顧客フィードバックから洞察を引き出してください。エグゼクティブサマリー、市場分析、競合状況、推奨製品機能、マルチチャネルのデジタルマーケティング計画、主要業績評価指標（KPI）を含む公式レポートとして構成し、すべての情報源を引用してください。」
- 期待される出力: 社内知識（製品仕様、販売データ）と外部情報（競合製品、市場トレンド）を統合した、詳細な複数ページのレポート⁸。このレポートは、強調すべき特定の機能（例：GPSの精度、防水性）を特定し、マーケティングチャネル（例：アウトドア系インフルエンサーとの提携、SNSでのターゲット広告）を提案し、その推奨事項に対するデータに基づいた論理的根拠を、社内ファイルや外部ウェブページからの引用と共に提示します。

2. 重要顧客との商談準備

- 背景: アカウントマネージャーが、主要顧客との四半期ビジネスレビュー（QBR）を控えており、関係性のあらゆる側面について万全の準備をする必要があります¹⁰。
- プロンプト例: 「来週のContoso社とのQBRの準備を手伝ってください。包括的な顧客情報レポートを生成してください。過去90日間のContoso社の主要ステークホルダーとのすべてのメールとTeamsチャットのコミュニケーションを要約してください。彼らが購入した製品の利用状況データを分析し、十分に活用されていない領域を特定してください。彼らから提出されたすべてのサポートチケットを確認してください。最後に、Contoso社の事業優先順位に影響を与える可能性のある最近のニュースや発表をWebで検索してください。これらの調査結果を、関係性の要約、主要な討議事項、特定されたリスク、そして我々のパートナーシップを拡大またはアップセルするためのデータに基づいた3つの機会を含むレポートにまとめてください。直接の引用を含め、すべての情報源を引用してください。」
- 期待される出力: 簡潔かつ詳細なブリーフィング資料。顧客がメールである特定の機能について不満を述べている一方で、利用データからは彼らが購入した別の製品を十分に活用していないトップ顧客であることが示されます¹⁰。また、Webからは顧客の新しいサステナビリティに関するプレスリリースが見つかり、新たなサービス提供の可能性が示唆されます。この出力により、アカウントマネージャーは深く実用的な情報を得て、標準的なレビューを戦略的な機会へと転換させることができます。

3. 四半期ごとの包括的なプロジェクトレビューレポートの作成

- 背景: プロジェクトリーダーが、複雑な部門横断プロジェクトについて、経営層向けの進捗報告書を作成する必要があります⁴。
- プロンプト例: 「『プロジェクト・フェニックス』イニシアチブに関する第2四半期の包括的なレビューレポートを生成してください。プロジェクトのSharePointサイトから最新のプロジェクト計画とリスクログの情報を取得してください。Teams内のすべての『プロジェクト・フェニックス』会議の議事録から、主要な決定事項とアクションアイテムを要約してください。OneDriveにあるプロジェクト予算のスプレッドシートを分析し、予測に対する支出状況を報告してください。プロジェクトチームのチャットチャンネルをレビューし、チームのセンチメントや繰り返し発生している障害を特定してください。レポートは、主要な達成事項、マイルストーンに対する進捗、予算分析、特定されたリスクと緩和策、チームのセンチメントの要約の各セクションで構成してください。すべての情報源を引用してください。」
- 期待される出力: プロジェクトリーダーの手作業による編集時間を大幅に削減する、データ豊富なレポート。プロジェクト計画からマイルストーンの状況を自動的に抽出し、会議の議事録から主要な決定事項をそのまま引用し、予算実績の要約を作成し、チャットで繰り返し言及されているエスカレーションが必要な問題を特定します。最終的な文書は、完全に参照情報が付与され、経営層へのレビュー準備が整った、信頼できる唯一の情報源となります。

VI. 補足情報: 導入と運用のための必須知識

A. 料金体系とライセンス要件

- 料金: Researcher Agentを含むMicrosoft 365 Copilotは、年間契約でユーザーあたり月額\$30.00のアドオンライセンスとして提供されます¹⁹。
- 前提条件: このアドオンを利用するには、対象となるMicrosoft 365のベースライセンスが別途必要です。Researcherを単体で購入することはできません²⁶。
- 対象となるベースライセンス: IT部門や調達担当者がCopilotアドオンの対象資格を判断するために不可欠な、実用的な情報を提供します。複雑なライセンス情報を複数の情報

源から集約し、導入の重要な前提条件を単一の参照しやすい形式で明確化します。

表2: Copilotアドオンの対象となるMicrosoft 365ベースライセンス

カテゴリ	対象プラン
ビジネス	Microsoft 365 Business Standard, Microsoft 365 Business Premium
エンタープライズ	Microsoft 365 E3, Microsoft 365 E5, Office 365 E1, Office 365 E3, Office 365 E5
現場担当者	Microsoft 365 F1, Microsoft 365 F3, Office 365 F3
教育機関 (教職員および18歳以上の学生)	Microsoft 365 A1, Microsoft 365 A3, Microsoft 365 A5, Office 365 A1, Office 365 A3, Office 365 A5
その他	Microsoft 365 Apps for business/enterprise、および Teams, Exchange, SharePoint などの各種単体プラン
出典: ³¹	

B. セキュリティとデータプライバシー

- **Microsoftのコミットメント:** Microsoftは、顧客のデータ、プロンプト、応答がMicrosoft 365のサービス境界内に留まり、転送中および保存時に暗号化され、基盤となるLLMのトレーニングには使用されないことを保証しています¹⁸。このサービスは、GDPRやEUデータ境界といった主要なコンプライアンス基準に準拠しています¹⁸。
- **顧客の責任:** セキュリティは共同責任です。主要なリスクは組織内部にあります。エージェントのアクセス権はユーザーの権限によって決まるため、組織は「最小権限」のアクセスモデルを用いて適切なデータガバナンスを確保し、エージェントが過剰に共有された機密情報を表示しないようにしなければなりません。IT管理者は、どのサードパーティ製プラグインを有効にするかを制御できます¹⁸。

C. 競合ツールとの比較分析

- **Researcher vs. Perplexity AI:** これは、統合された「内部＋外部」情報統合ツールと、クラス最高の「外部」リサーチエンジンの比較です。
 - **Researcher**の優位性: Microsoft Graphを介した組織の専有データとの深く安全な統合。企業の知識と公開情報を統合する必要がある質問に答えることに長けています³⁴。
 - **Perplexity**の優位性: リアルタイムで引用付きのウェブ調査における優れた性能。純粹に外部に関するクエリに対して、より高速で徹底的な場合が多く、直接リンクを提供し、公開情報源から論拠を構築します³⁴。
 - 結論: 社内戦略や企業データの統合には**Researcher**を、外部の市場調査、学術研究、公開トピックの事実確認には**Perplexity**を選択するのが合理的です。
- **Researcher/Analyst vs. Google Gemini:** これは主にエコシステムの戦いです。
 - 統合: CopilotエージェントはMicrosoft 365スイート(Excel, Word, PowerPoint, Teams)に深く組み込まれているのに対し、GeminiはGoogle Workspace(Sheets, Docs, Gmail)にネイティブです³⁷。
 - 機能: データ分析に関しては、現時点ではCopilot in Excel(Analystエージェントの領域)がGemini in Sheetsよりも堅牢で機能が豊富であると見なされており、より高度な自動化、ピボットテーブル、数式処理を提供します⁴⁰。創造的なタスクやマルチモーダルタスクでは、より大きなコンテキストウィンドウとビデオ/オーディオ入力のネイティブサポートにより、Geminiが優位に立つことが多いです³⁹。
 - 結論: 選択は組織が既存で利用している生産性スイートに大きく依存します。Microsoft 365に深く投資している企業にとっては、Copilotとそのエージェントがより強力な論理的な選択肢となります。

D. 今後の展望とロードマップ

Microsoftは、エージェント機能を継続的に開発しています。公式ロードマップによれば、開発者がM365 Copilot用のカスタムエンジンエージェントを構築・テストできるようにするなど、エージェント機能の拡張が進行中です⁴²。

将来的には、対応言語の拡大(現在Researcherは37言語、Analystは8言語に対応)¹¹や、OneNote、Loop、Streamといったより多くのM365アプリケーションへの深い統合が期待されます¹⁹。長期的なビジョンは、すべての従業員が専門的なAIエージェントのチームによって支

援される労働環境の実現です。

VII. 総括と提言

総括

Microsoft 365 Copilot Researcher Agentは、エンタープライズAIの新たなフロンティアを象徴する革新的なツールです。これは単なる検索や要約機能の漸進的な改善ではなく、複雑な知的労働を自動化できる強力な推論エンジンです。組織内部の専有データと広大な公開ウェブ情報を安全に統合する能力は、その中核的かつ比類なき強みです。しかし、その力には重大な前提条件と制約が伴います。すなわち、高い総所有コスト、厳格な利用上限、そして組織のデータ成熟度への絶対的な依存です。これは、すべての従業員向けの普遍的な生産性ツールではなく、データ駆動型の組織のための専門的な道具と言えます。

提言

1. ビジネス・戦略リーダー向け:

- 技術導入ではなく戦略的イニシアチブとして捉える: Researcherの導入決定は、技術的な目新しさではなく、明確なビジネスケースによって推進されるべきです。競合分析やM&Aのデューデリジェンスなど、エージェントが測定可能なROIを提供できる特定の高価値なリサーチワークフローを特定してください。
- パイロットプログラムから始める: 高コストと利用制限を考慮すると、広範な展開は賢明ではありません。少人数のパワーユーザー(例: 5~10人のアナリストやストラテジスト)によるパイロットプログラムを開始してください。彼らに主要業務でエージェントを使用させ、節約された時間とアウトプットの質を厳密に追跡します²³。これにより、より広範な展開を正当化するためのデータが得られます。
- プロンプトエンジニアリング研修に投資する: エージェントの出力品質は、ユーザーの入力品質に直結します。ツールの有効性を最大化するために、詳細で文脈豊かなプロンプトを作成する方法について、チーム向けの研修に投資してください³⁰。

2. IT・データガバナンスリーダー向け:

- 「準備税」を優先する: 最初のライセンスを購入する前に、包括的な情報ガバナンスの監査を開始してください。Copilotの導入を、最小権限の原則を徹底し、SharePointの古いデータを整理し、Microsoft Purviewなどのツールを用いて堅牢なデータ分類を実装するための触媒として活用してください¹⁴。
- エージェントのガバナンスフレームワークを策定する: Researcherや他のエージェントの使用に関する明確なポリシーを確立してください。誰がライセンスを取得するか、どのサードパーティ製コネクタが許可されるか、機密情報を含むアウトプットのレビュープロセスなどを定義します。
- 現実的なコミュニケーションを行う: 組織の期待を管理してください。Researcherが強力ではあるものの、魔法の杖ではなく専門的なツールであることを明確に伝えます。過信や失望を防ぐために、その限界と、出力を検証する上での人間の専門知識の重要な役割を強調してください。

結論として、Researcher Agentはナレッジワークの未来を垣間見せてくれます。テクノロジーと、それが要求する基盤となるデータガバナンスの両方に戦略的に投資する意思のある組織にとって、それは前例のないレベルの洞察と生産性を解き放つ可能性を秘めています。

引用文献

1. Microsoft 365 Copilot | Features - Plain Concepts, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.plainconcepts.com/microsoft365-copilot-guide/>
2. Top 7 Features of Microsoft 365 Copilot You Should Know - nBold, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://nboldapp.com/top-7-features-of-microsoft-365-copilot-you-should-know/>
3. What are the main features of Copilot for Microsoft 365? - Forum - Quest Software, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.quest.com/community/dams/f/forum/35325/what-are-the-main-features-of-copilot-for-microsoft-365>
4. Introducing Researcher and Analyst in Microsoft 365 Copilot, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/blog/2025/03/25/introducing-researcher-and-analyst-in-microsoft-365-copilot/>
5. Reinvent productivity with Microsoft 365 Copilot, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/copilot>
6. Microsoft 365 Copilot debuts new research tools for work: here's what that means, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.tomsguide.com/ai/microsofts-copilot-ai-tool-gets-deep-research-features>
7. The new Researcher Agent in Microsoft 365 Copilot: AI reasoning ..., 6月 18, 2025にアクセス、
<https://stellium.consulting/articles/insights/m365-copilot-researcher-agent/>
8. Microsoft 365 Copilot gets AI reasoning skills for advanced research and analysis,

- 6月 18, 2025にアクセス、
<https://siliconangle.com/2025/03/25/microsoft-365-copilot-gets-ai-reasoning-skills-advanced-research-analysis/>
9. Microsoft 365 Copilot の Researcher エージェント - Windows Blog ..., 6月 18, 2025
にアクセス、
<https://blogs.windows.com/japan/2025/04/14/researcher-agent-in-microsoft-365-copilot/>
 10. Researcher and Analyst are now generally available in Microsoft 365 Copilot, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/blog/2025/06/02/researcher-and-analyst-are-now-generally-available-in-microsoft-365-copilot/>
 11. Research and Analyst Agents Are Now Available in Microsoft 365 ..., 6月 18, 2025
にアクセス、
<https://www.thurrott.com/a-i/microsoft-copilot-a-i/321717/research-and-analyst-agents-are-now-available-in-microsoft-365-copilot>
 12. Microsoft 365 Copilotが進化。高度な調査とデータ分析を可能にする新AIエージェント | y-kishioka, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://note.com/kishioka/n/n335d04ef51d8>
 13. Microsoft Copilot - Wikipedia, 6月 18, 2025にアクセス、
https://en.wikipedia.org/wiki/Microsoft_Copilot
 14. What is Microsoft 365 Copilot?, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://learn.microsoft.com/en-us/copilot/microsoft-365/microsoft-365-copilot-overview>
 15. What Is Microsoft Copilot Analyst & Researcher - Cobweb Solutions, 6月 18, 2025
にアクセス、
<https://cobweb.com/content-hub/blogs/what-is-microsoft-copilot-analyst-and-researcher/>
 16. Copilot Studio の使い方 | ナレッジ検索・定期情報収集・自律型エージェントの導入方法, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.a-c-japan.com/solution/copilot-ai/copilot-studio/>
 17. Researcher agent in Microsoft 365 Copilot, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://techcommunity.microsoft.com/blog/microsoft365copilotblog/researcher-agent-in-microsoft-365-copilot/4397186>
 18. Data, Privacy, and Security for Microsoft 365 Copilot | Microsoft Learn, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://learn.microsoft.com/en-us/copilot/microsoft-365/microsoft-365-copilot-privacy>
 19. AI for Enterprise Productivity | Microsoft 365 Copilot, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/copilot/enterprise>
 20. Microsoft 365 Copilot で生産性を飛躍的に向上させましょう, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/copilot>
 21. Microsoft 365 Copilotとは？業務活用例や最新機能も解説 - Aismiley, 6月 18, 2025
にアクセス、
https://aismiley.co.jp/ai_news/what-is-microsoft-365-copilot/
 22. AI agents Researcher and Analyst strengthen Microsoft 365 Copilot - Techzine Global, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.techzine.eu/news/applications/130825/ai-agents-researcher-and-an>

- [alyst-strengthen-microsoft-365-copilot/](#)
23. Should You Use Copilot? Pros and Cons of Microsoft's AI Assistant - Anders CPA, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://anderscpa.com/copilot-microsofts-ai-assistant-pros-cons/>
 24. Microsoft 365 Co-pilot Security Risks: Complete Enterprise Safety Guide 2025 - Metomic, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.metomic.io/resource-centre/what-are-the-security-risks-of-microsoft-co-pilot>
 25. Researcher and Analyst Usage Limits | Microsoft Community Hub, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://techcommunity.microsoft.com/discussions/microsoft365copilot/researcher-and-analyst-usage-limits/4420959>
 26. Microsoft 365 Copilot—Business Plans, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/copilot/business>
 27. Microsoft 365 Copilot Plans and Pricing—AI for Business, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365/copilot/pricing>
 28. Microsoft 365 Copilot security: Protecting your data and users - ShareGate, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://sharegate.com/blog/copilot-security>
 29. The limits of the magic of Copilot for Microsoft 365 - Softeng, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.softeng.es/en/blog/the-limits-of-the-magic-of-copilot-for-microsoft-365/>
 30. A step-by-step guide to piloting M365 Copilot: Limitations and learnings - emt Distribution, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://emtmeta.com/limitations-and-learnings-with-coreview-and-emt-distribution/>
 31. License options for Microsoft 365 Copilot | Microsoft Learn, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://learn.microsoft.com/en-us/copilot/microsoft-365/microsoft-365-copilot-licensing>
 32. Microsoft Copilot License Requirements, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://techcommunity.microsoft.com/discussions/microsoft365copilot/microsoft-copilot-license-requirements/3855214>
 33. Privacy Concerns with Onboard AI: Microsoft Copilot | Office of Innovative Technologies - University of Tennessee, Knoxville, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://oit.utk.edu/security/learning-library/article-archive/privacy-concerns-with-onboard-ai-microsoft-copilot/>
 34. Perplexity AI vs Copilot- Which Is Better for Business Use? - Entrepreneurs.ng, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://entrepreneurs.ng/perplexity-ai-vs-copilot/>
 35. Best AI Assistant in 2025? ChatGPT vs Google Gemini vs Microsoft Copilot vs Perplexity, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://whatthetech.tv/best-ai-assistant-in-2025-chatgpt-vs-google-gemini-vs-microsoft-copilot-vs-perplexity/>
 36. I tested Perplexity vs Copilot with 10 prompts for different use cases — Here's what I found, 6月 18, 2025にアクセス、

- <https://techpoint.africa/guide/i-tested-perplexity-vs-copilot-with-10-prompts/>
37. Choosing Microsoft Copilot or Google Gemini for Enterprise AI - BitTitan MigrationWiz, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://get.bittitan.com/blog/from-the-experts/choosing-microsoft-copilot-or-google-gemini-for-enterprise-ai/>
 38. A Comparison of Copilot vs Gemini - CloudOffix, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.cloudoffix.com/blog/explore-the-world-of-cloudoffix-1/post/a-comparison-of-copilot-vs-gemini-335>
 39. Microsoft Copilot vs Google Gemini in 2025: Which AI Assistant Wins for Productivity?, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.datastudios.org/post/microsoft-copilot-vs-google-gemini-in-2025-which-ai-assistant-wins-for-productivity>
 40. Copilot vs. Gemini: A Critical Evaluation of AI-Driven Productivity for ..., 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.setuserv.com/copilot-vs-gemini-a-critical-evaluation-of-ai-driven-productivity-for-analysts/>
 41. A Detailed Look At Gemini vs. Copilot AI Capabilities - DhiWise, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.dhiwise.com/post/a-detailed-look-at-gemini-vs-copilot-ai-capabilities>
 42. Microsoft 365 Roadmap | Microsoft 365, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/microsoft-365/roadmap?id=474439>
 43. Latest updates for Microsoft 365 Copilot, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://support.microsoft.com/en-us/topic/latest-updates-for-microsoft-365-copilot-a5685141-8081-458c-80d6-42493aad51ed>
 44. Microsoft 365 Roadmap | Microsoft 365, 6月 18, 2025にアクセス、
<https://www.microsoft.com/microsoft-365/roadmap?id=483357>